

1 はじめに

東温支部では、今年度より小・中学校にタブレット端末が整備された。1人1台タブレット端末が導入されたことで、授業でタブレット端末を活用する機会が増えてきた。新たな学習支援ソフトも導入され、東温支部でもよりよい授業活用に向けて実践研究に取り組んでいる。

2 実践事例

(1) カメラ機能を活用した授業実践

2年算数科「かけ算～身の周りのかけ算を見つけよう～」

身の回りのかけ算で構成できる場面を写真で撮り、その写真を基に、かけ算の立式をしたり、たし算を使って九九の積を見つけたりする活動を行った。基準量のいくつ分になるかタブレット端末に書き込みながら、式に結び付けることができた。

また、「三角形と四角形」の単元でも、身の回りの三角形や四角形を見つける活動にタブレット端末を活用した。

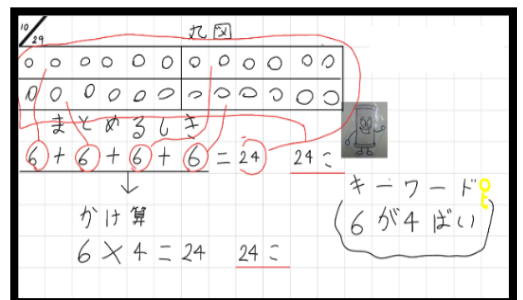


【児童がタブレット上のマスに表したもの】

(2) タブレット端末をノートやワークシートとして活用した授業実践

2年算数科「かけ算」

九九の構成の理解を図るために、問題文を図に表す活動を行った。その際、ペイント機能で作成したマスが描かれたノートを配付した。問題文から分かることをタブレット端末上のマスを使って図に表し、式を考えた。タブレット端末を活用したことで、全体発表で自分の考えを画面に映し出しながら考えを共有することができた。書き直しが容易な点も、児童の思考をスムーズにさせる手立てとなった。



【児童がロイロノートに表現したもの】

(3) 動画を活用した授業実践

2年国語科「おもちゃの作り方をせつめいしよう」

おもちゃの作り方の動画を学習支援ソフトウェアで配付し、それを見ながら、おもちゃの作り方の説明文を書いた。URLを添付し、個々のタブレット端末で見れる環境をつくることで、児童が動画を止めたり、見返したりしながら、自分のペースで説明文を書くことができた。



【動画を見て文章を作成している様子】

3 成果と課題

タブレット端末を活用することを習慣化したことで、児童同士が考えを共有する場で、自分の考えを相手に伝えるためにどのように表現すればよいか、情報を整理しながらまとめることができるようになってきた。さらに、自分が作成した図や絵を基に順序立てて説明する力が付いた。

しかし、タブレット端末上に書き込むと、児童のノートに自分の考えや友達考えが残らないという課題が出てくる。学習したことを振り返るためにノートが有効活用できるよう、確実に記録を残すことも重要である。